



明けましておめでとうございます

園長 笛木 哲



令和4年二学期 終業式

沖縄の桜は、開花に冬の寒さを必要とするため、北部の山間部から咲き出すそうです。昨年、全国の幼稚園、保育園での『バス閉じ込め事件』『不適切な指導』が報道され、保育現場への厳しい目が注がれ、不信感が渦巻きました。保護者アンケートでは、本園を信頼してくださる保護者の皆様のご意見をたくさんいただきましたが、今回の事件事故を他人事とせず、私たちへのエールと受け止め、厳しく自己の保育を見直しました。現状に甘え、慢心することなく、保護者、地域から信頼され、選ばれる幼稚園をめざし、今年も、一生懸命で謙虚な気持ちをもって保育を進めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

### 3学期の行事について

保護者アンケートでは、多くの方から「『運動会』『生活発表会』を保護者2名の参加にさせていただき、ありがたかった」というご意見をいただきました。一方で、保護者2名のホールでの観劇は、時期尚早ではないかというご意見もいただきました。想定より長引き、先の見えないコロナ禍の今、様々な考えが共存しています。全ての方にご満足いただける方法を見つけることは難しいですが、子供たちの幼稚園生活をより輝かせるために、これからも知恵を絞ってまいります。3学期に計画している行事については、子供の安心安全を一番に考え、十分な感染防止対策を行い、できれば従来に近い形で実施したいと考えています。もちろん、今後の感染状況を見極め、その都度の判断になろうかと思えます。昨年度は、感染状況悪化のため、「保育参観」「体操自由参観」は中止、「卒園式」は保護者1名限定と、コロナ感染におびえる日々が続きました。新しい年は、コロナ感染におびえることなく、思い切り呼吸のできる世の中になることを切に願っています。



年長児は、1月25日(水) つばさ北小学校に行き、小学生との交流会を行います。

## 新しいお友だち

12月からゆり組に松川心さんが仲間入りしました。1月からちゅうりっぷ組に、細野ここ美さん、瀬野大智くん、長田吉之助くん、大河内栞生さんが仲間入りします。どうぞよろしくお願ひします。



## 本年4月『こども家庭庁』が発足する予定です。ご存じですか？

昨年6月の国会で成立した「設置法」に基づき、現在準備が進められています。2020年度の内閣府調査では、「日本は子どもを産み、育てやすい国だと思うか」という質問に、6割以上の方が「全くそう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答しました。また、1人の女性が一生のうちに子どもを産む人数は6年連続で低下(1.30)しました。さらに、子どもの成長過程でも、児童虐待やヤングケアラー、いじめや不登校、貧困など様々な社会問題が指摘されています。ところが、これまで子どもに関する政策は、厚労省・文科省など複数の機関が担っていました。こうした縦割り行政を解消し、妊娠から出産、育児、成長と続く中で、支援を断絶させず、よりの確で手厚い対応を目指すそうです。(幼稚園はこれまで通り文科省の管轄になりますが…)

## 子どもの「ことば」

- バスの車窓から、お家を建てている現場を見て、子「俺の家は豪華なんだ」教師「豪華ってなに？」子「豪華ってSpecialのことだよ」教師「Specialってなに？」子「シンプルってことだよ」教師「シンプルってどういうこと？」子「使っているものがぜんぶ綺麗って事だよ。もうそんなに細かく聞かないでよ。僕の家には一つだけ豪華でないところがあるんだ。お家の家の壁に鳥のうんちがついているんだ」…教師の矢継ぎ早の質問に的確に答える年中さん。見事な会話です。最後の最後、たたみかける質問に疲れ切っているオチを付けて終わりにする会話の技能が素晴らしい。
- 課外活動に来た小学1年生に、保護者が「がたいがよくなったね」と伝え、彼は、「俺、毎日リンスをしているから」とにこやかに答える。…始業式で子供たちに伝える言葉も「分かっているようで分かっていない」、子供たちと会話を楽しんでいるときにも「かみ合っていない」という現実を突きつけられた思いがします。

## 園児が輝く時

※HPで「笑顔の子どもたち」を紹介しています。よろしかったらご覧ください。



### 卒園生の活躍にエール

12月25日『全国高等学校駅伝競走大会』に、卒園生の小島光稀君が、山梨県代表(山梨学院)として出場(2年連続)しました。47人中9位という好記録で、チームの順位を引き上げました。小島くんは2年生。来年の活躍も期待できます。なお今年22日の『都道府県駅伝競争大会』にも山梨県代表で出場します。

一人一人の子がそれぞれ思いをもって、幼稚園生活を楽しんでいます。そんな子供たちも、3か月後には、新しい学年に進級し、小学校へ入学します。昨日と同じように見える子供たちですが、春の陽に輝くタンポポのように、たくましく根を張り、力強く伸びる準備をしています。